

## 平成19年度

### 「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅰ」の出題の趣旨

#### 第1問（配点10点）

景気の回復を追い風に業績を改善しつつある宝飾品業界の市場環境の変化とその背景を、中小企業診断士の立場から、客観的に分析する能力を問う問題である。

#### 第2問（配点15点）

百貨店やショッピングセンター内のインスタショップによる店舗展開によって成長を遂げてきたA社の事例を通して、インスタショップによる店舗展開がA社の事業に及ぼしてきたメリットとデメリットを問う問題であり、中小企業の多店舗化戦略に関する基本的理解と助言能力を問う問題である。

#### 第3問（配点15点）

インスタショップによる多店舗展開によって成長を実現してきたA社が唯一展開する直営路面店すなわち旗艦店舗の戦略的位置づけと、旗艦店としての機能を果たす上で必要な戦略的施策に関して、中小企業診断士としての助言能力を問う問題である。

#### 第4問（配点45点）

業績改善および職場改善を目的としてA社が実施した従業員の意識や満足度調査の結果から、企業内の小集団に内在する課題について問う問題である。

##### （設問1）

A社店舗の中で、高級ブランドであるXブランドのみを扱っている店舗の従業員の満足度が低くなっている要因を、中小企業診断士の立場から、客観的に分析する能力を問う問題である。

##### （設問2）

A社従業員の中で、インスタショップ店舗に勤務する従業員の満足度が直営店に勤務する従業員よりも低くなっている要因を、中小企業診断士の立場から、客観的に分析する能力を問う問題である。

##### （設問3）

A社従業員の中で、上司に対する不満が、相対的に社歴の長い従業員の方が社歴の短い従業員よりも高くなっている点を分析する能力、および、それを解消するための施策に関して、中小企業診断士としての分析能力および助言能力を問う問題である。

#### 第5問（配点15点）

相対的に売上高営業利益率の低いA社が収益力を改善していくための具体的施策に関して、A社を取り巻く経営環境および経営資源の面での制約条件を勘案しながら、中小企業診断士としての助言能力を問う問題である。

以上